

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
在宅看護方法論Ⅰ (在宅ケアマネジメントと訪問看護)	3年次 前期	必修	講義	1単位（30時間）	本庄 幸代 ※
授 業 概 要					
在宅療養を望む療養者とその家族が地域で療養生活をおくるための在宅ケアマネジメントの概念、方法、連携の必要性を学ぶ。また、在宅ケアを支える制度や社会資源を理解し、在宅看護の展開方法である在宅看護過程とともに、在宅ケア提供時のマナーや看護職の基本的態度を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 在宅ケアマネジメントの概念、関係職種との連携を理解し、在宅ケアを支える制度や社会資源について説明する。 2. 訪問看護制度の概要を説明する。 3. 療養の場の移行に伴う看護について説明する。 4. 在宅看護過程の一連の流れを説明する。 5. 在宅看護に必要な看護職のマナーと基本的態度について説明する。					
実務経験のある教員					
本庄 幸代：訪問看護ステーションでの現場経験を踏まえ、在宅看護の制度と在宅看護過程について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-2	1. 在宅ケアマネジメント 1) 在宅ケアマネジメントの概念 2) 地域包括ケアシステムと在宅ケア 3) 在宅ケアマネジメントと看護職の役割 4) 在宅ケアにおける社会資源				外部講師
3-4	2. 訪問看護制度 1) 訪問看護実施機関 2) 訪問看護に関わる法令と制度の概要 3) 訪問看護ステーションの管理・運営				本庄 幸代 ※
5-6	3. 療養の場の移行に伴う看護 1) 在宅療養に向けた看護；退院支援・退院調整とは 2) 在宅療養に関わる専門職との連携				外部講師
7-15	4. 在宅看護過程 1) 在宅看護過程とは 2) 訪問時のマナーと看護職の基本的態度 3) 訪問看護制度における在宅看護過程の展開				本庄 幸代 ※ 他
学 習 方 法					
講義 演習 グループワーク					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験 詳細は初回講義時に提示する。					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看護論 地域療養を支えるケア                ナーシング・グラフィカ 臺有桂・石田千絵・山下留理子・編 メディカ出版</li> <li>・在宅看護論 地域療養を支える技術                ナーシング・グラフィカ 臺有桂・石田千絵・山下留理子・編 メディカ出版</li> </ul>					